

2024年 大分東急ゴルフクラブ ローカルルールと競技の条件

2024年開催の大分東急ゴルフクラブ主催競技は、(公財)日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則(2023年1月施行)とこのローカルルールと競技の条件を適用する。これらの追加・変更については各競技に適用される競技規定やプレーヤーへの注意事項を確認のこと。下記に参照するローカルルールの全文については2023年1月発行の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること。別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰(ストロークプレーでは2打罰)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則18.2)

アウトオブバウンズは白杭または白線で定める(定義「アウトオブバウンズ」参照)。

2. ペナルティーエリア(規則17)

- ペナルティーエリアの限界が片側だけ定められている場合、そのペナルティーエリアは無限に広がっているものとみなす。
- ペナルティーエリアの限界の一部がアウトオブバウンズの境界で定められている場合、その限界はアウトオブバウンズの境界と一致する

3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則16)

(a) 修理地

- 修理地は白線と青杭で表示する(定義「修理地」参照)。
- 張芝の継ぎ目:ローカルルールひな形F-7を適用する。
- パッティンググリーンの前後のペイントマークとジェネラルエリアの芝草を短く刈ってある区域にあるヤードージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合(スタンスの障害は除く)、規則16.1に基づく救済を受けることができる。

(b) 動かさない障害物

- 場内整理用の縄張り施設は障害物とみなす。
- 排水溝は動かさない障害物とみなす。
- 動かさない障害物に接している他の動かさない障害物は一体の動かさない障害物とみなす。
- 動かさない障害物に白線で繋がれた区域はその障害物の一部とみなす。
- 動かさない障害物によって囲まれた造園区域(花壇、低木の植え込みなど)はその障害物の一部とみなす。
- 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす

(c) 地面に食い込んでいる球

規則16.3は次のように修正される。バンカーの上方の積み芝の面に食いこんだ球については罰なしの救済は認められない。

4. コースと不可分の部分

- 巻物、ワイヤ、ケーブル等で樹木に密着している部分
- ペナルティーエリア内にある護岸用の構築物

5. 恒久的な高架の送電線

ローカルルールひな形E-11を適用し、次のように修正する。プレーヤーの球がインバウンズの送電線に当たったことがわかってるか、事実上確実な場合、そのストロークはカウントしない。そのプレーヤーは規則14.6に従って直前のストロークを行った場所から罰なしに球をプレーしなければならない。

例外:高架線の鉄塔や支柱に球が当たった場合には適用しない。

6. 臨時の動力線とケーブル

ローカルルールひな型F-22を適用する。

7. 臨時の動かさない障害物

ローカルルールひな型F-23を適用する。

8. クラブと球

- 適合ドライバーヘッドリスト:ローカルルールひな型G-1を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰:失格
- 溝とパンチマークの規格:ローカルルールひな型G-2を適用する。
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰:失格
- 公認球リスト:ローカルルールひな型G-3を適用する。
- 壊れた、または著しく破損したクラブの取り替え:ローカルルールひな型G-9を適用する。
- 46インチを超える長さのクラブの使用を禁止する:ローカルルールひな型G-10を適用する。
ただし、九州小学生ゴルフ大会、ハンディキャップゴルフ競技九州大会、九州スーパーシニアカップは除く。

9. プレーのペース(規則5.6)

プレーヤーは競技ごとに制定されるプレーのペースを確認しておくこと。

「プレーのペースの方針」の違反の罰:

バッドタイム1回目:警告(次のバッドタイムからは罰が与えられることを告げられる)

バッドタイム 2 回目：1 打の罰
バッドタイム 3 回目：さらに 2 打の罰
バッドタイム 4 回目：競技失格

10. プレーの中断（規則 5.7）

プレーの中断及び再開の通報は以下の通り。

プレーの即時中断 : 1 回の長いサイレン
プレーの中断 : 連続する 3 回のサイレン（繰り返し）
プレーの再開 : 2 回のサイレン

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

11. ホールとホール間の練習（規則 5.5 b）

ローカルルールひな型 I-2 を適用する。

12. 移動

本競技はセルフプレーとし、正規のラウンド中の移動については乗用カートの使用を認める。

競技の条件

13. スコアの入力及び提出

スコアはカートナビにホール終了後その都度入力し、競技終了後確定し P C 打出しのスコアカードにマーカ-の署名の上、アテスト会場にて提出する。

14. 順位の決定

全てマッチングスコア方式にて順位を決定する。

15. 競技終了時点

決勝競技は競技委員長の成績発表がなされた時点、予選競技においては委員会の作成した順位表が掲示された時点をもってその競技は終了したものとみなす。

注意事項

16. ローカルルールの追加、変更

ローカルルールや競技の条件に追加や変更があるときは、クラブハウス内に掲示して告示する。

17. 練習

練習は指定練習場にて行い、打ち放し練習場においては備え付きの球を使用し、スタート前の練習では球数に制限がある。球数は別途告示する。

18. 競技前日の練習

競技前日の練習はアウト、インともスタートを 14 時で打ち切る。

19. 参加の取り消し

委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。

20. 行動規範

プレーヤーまたはそのキャディーにエチケット違反、または非行があった場合には「2023 年度九州ゴルフ連盟主催競技行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則 1.2 に基づいて失格とする場合がある。事前に九州ゴルフ連盟の HP にて確認する事。

ローカルルールと競技の条件に次のことを追加する。

1. ティーマークは、青色ティーマーカーを使用する。
2. グリーンは、OLD グリーン（ベント）を使用し、6,818 ヤード Par72 とする。
3. セルフバック（スタンドバック）の使用・持ち込みは禁止。
4. 練習場での球数は 24 球に制限する。
5. 特設ティーは適用しない。
6. 6 番ホール左側及び 7 番ホール左側並びに 15 番の右側及び 17 番右側のアウトバウンズ区域を越えた球はアウトオブバウンズとする。
7. 球が 2 番グリーン奥の防球ネットにかかりスイングの妨げになる場合は、プレーヤーは球をドロップ区域にドロップしなければならない。
8. ギャラリーの立ち入りは、クラブハウス周辺及びスタートホールティーグラウンド周辺のみ入場可。

※最終成績は、2 月 8 日 18:00（予定）に「トライアルゴルフ&リゾート OITA COURSE」のホームページに掲載いたします。
※予選通過選手には、クラブより 3 月 19 日（火）開催の「第 43 回トライアル・東急大分オープンゴルフトーナメント」のご案内致します。

競技委員長 田中弘史